作成日：2026 年　9 月　28 日

研究協力のお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

前立腺癌に対するアンドロゲン受容体シグナル阻害薬の治療実態および治療転帰に関する後方視的研究

１．研究の対象および研究対象期間

2014 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日に昭和医科大学病院泌尿器科で前立腺癌に対して、アビラテロン、エンザルタミド、アパルタミド、ダロルタミドのいずれかによる治療を受けた患者さん

２．研究目的・方法

前立腺癌に対する薬物治療では、病気の進行や副作用などにより治療薬を変更したり、中止したりすることがあります。また、一人の患者さんに複数の治療薬が順番に使用されることもあります。

本研究では、対象となる患者さんの診療録を用いて、これらの薬剤がどのような病状で使用され、どのくらいの期間継続されたか、どのような理由で治療が中止・変更されたかを調査します。また、治療前後の血液検査や画像検査の結果、これまでに受けた治療などとの関係についても検討します。

本研究はすでに診療のために得られた情報のみを使用して行うため、研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

３．研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから　2028 年　12 月　31 日まで

４．研究に用いる試料・情報の種類

年齢、前立腺がんと診断された時期、病期、病理検査結果、転移の有無および部位、これまでに受けた手術・放射線治療・薬物治療、使用した前立腺がん治療薬の種類・開始日・終了日・治療期間・中止理由、血液検査結果（PSA 値を含む）、CT・MRI・骨シンチグラフィの画像検査結果、副作用、最終受診日、生存・死亡に関する情報

５．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

６．研究組織

研究責任者	昭和医科大学病院泌尿器科	教授　押野見 和彦
研究分担者	昭和医科大学病院泌尿器科	助教　菊名 航太
	昭和医科大学病院泌尿器科	助教　岡田 翔
	昭和医科大学病院泌尿器科	助教　角川 義樹
	昭和医科大学病院泌尿器科	講師　山岸 元基
	昭和医科大学病院泌尿器科	講師　中神 義弘

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院泌尿器科　　氏名：押野見 和彦

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8　　電話番号：03-3784-8560